

## オバデヤ書

## オバデヤの預言

主エホバ、エドムにつきて斯いひたまふ我らエホバより出たる音信を聞けり一人の使者國々の民の中に遣されて云ふ起よ我儕起てエドムを攻撃んと 我汝をして國々の中において小き者たらしむ汝は大に藐視らるゝなり 山崖の巖屋に居り高き處に住む者よ汝が心の傲慢なんぢを欺けり汝心の中に謂ふ誰か我を地に曳くだすことを得んと 汝たとひ驚のごとくに高く舉り星の間に巢を造るとも我そより汝を曳くださんエホバこれを言たまふ

盜賊汝に來り強盜夜なんぢに來り竊むともその心に満るときは止ざらんや嗚呼なんぢは滅されて絶ゆ葡萄を摘む者汝にいたるも尙幾何を遺さざらんや 盟約を結べる人々はみな汝を國境に逐やり汝と和好をなせる人々はみな汝を欺きて汝に勝ち汝の食物を食ふ者等は汝の下に罷縄を設く彼の中には顕悟あらず エサウの山より絶除かざらんや テマンよ汝の勇士は驚き懼れん而して人みな終に殺されてエサウの山より絶除かるべし

汝はその兄弟ヤコブに暴虐を加へたるに因て恥辱なんぢを蒙はん汝は永遠に至るまで絶るべし 二なんぢとは汝が遠

イ賽二一・一、三四	ハ王下一四・七	・五	・五
一四	耳三・一九	結二五・一二	ニ賽一四・一三一・一五
馬一・三		默一八・七	ヘ哈二・九
耶四九・一四		ル伯二〇・六	耶四九
		チ申二四・二一	一六
		ヨ結三五・九	馬一・四
		タ耳三・三	第三・一〇
		レ詩三七・二三、一三	四・一、七・一〇
		ツ伯三一・二九	七・七
		ソ詩二二・一七、五四	七・五、二四・一七
			一八、米七・八

ネ詩三一・八 ラ結三五・一五 哈二 四九・一二 耳三。牛摩九・六  
ナ結三〇・三 耳三。八 一七 彼前四・一七 ノ耳三・一七  
一四 ム耶二五・二八、二九、ウ耳二・三一 オ賽一〇・一七 駕 ヴ詩二二・二八 但二  
ク摩九・一二 提前四・一六 雅五  
ヤ番二・七

一二・六 マ王上一七・九、一〇・二〇  
ケ耶三二・四四  
コ詩二二・二八 但二  
一・三三 默一  
一五、一九・六

フ提前四・一六 雅五  
・四四、七・一四、  
・四四、七・一四、

ニ七 駕一四・九  
路

く離れて立をりし日即ち異邦人これが財寶を奪ひ他國人これが門に進み入りエルサレムのために籤を掣たる日に  
は汝も彼らの一人のごとくなりき 一三 汝は汝の兄弟の日すなはちその災禍の日を觀るべからず又ユダの子孫  
の滅亡の日を喜ぶべからずその苦難の日には汝口を大きく開べからざるなり 一三 我民の滅ぶる日には汝その門に  
入べからず其滅ぶる日には汝その患難を見べからず又その滅ぶる日には汝その財寶に手をかく可らず 一四 汝路の  
辻々に立てその逃亡者を斬べからず其患難の日にこれが遺る者を付すべからず

一五 王ホバの日萬國に臨むこと邇し汝の爲せること汝も爲られ汝の應報なんぢの首に歸すべし 一六 汝等のわ  
が聖山にて飲しごとく萬國の民も恒に飲ん即ちみな飲かつ啜りて從前より有ざりし者のごとく成ん

一七 シオン山には救はるゝ者等をりてその山聖所とならんまたヤコブの家はその產業を獲ん 一八 ヤコブの家は  
火となりヨセフの家は火燄となりエサウの家は藁とならん即ち彼等これが上に燃てこれを焚んエサウの家には遺  
る者一人も無にいたるべしエホバこれを言なり 一九 南の人はエサウの山を獲平地の人はペリシテを獲ん又彼らは  
エフライムの地およびサマリヤの地を獲ベニヤミンはギレアデを獲ん 二〇 カの擄はれゆきしイスラエルの軍旅は  
カナン人に屬する地をザレバテまで取んセバラデにあるエルサレムの俘虜人は南の邑々を獲ん 二一 然る時に救者  
シオンの山に上りてエサウの山を鞠かん而して國はエホバに歸すべし